

ふれあい

題 字 辰巳 新 元

第107号

発行日 平成28年6月吉日

発行人 市川 直幸

東大阪養護老人ホーム 編集委員会

東大阪市新上小阪11-2

東大阪養護老人ホーム 06-6726-3031

E-MAIL hoy@ace.ocn.ne.jp

http://www.osj.or.jp/higashiosaka/

ごあいさつ

『これまでも、これからも』

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は東大阪養護老人ホームに対して、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、大田前所長の後任として、四月一日に所長として着任致しました。

前所長の在籍期間には、施設の建て替え移転があり、取り組まれた経過を思うと、入所の皆様の日々の生活の安定に至るまで相当のご苦労があったと想像します。

さらに東大阪養護老人ホームは、昭和四十六年の開所以来四五五年の歴史ある施設です。このたびこの事業を統括する立場となり、これまでの要援護者を数多く受け入れてきた歴史に想いを馳せますと、その偉大な足跡にかかわることの重責に身が引き締まっております。

さらに、このたび新年度を迎え、地域包括支援センター上小阪を東大阪市の運営を受託し開始しました。また、養護老人ホームでは、一般型特



所 長
いちかわ なおゆき
市川 直幸

定施設入居者生活介護の事業にサビス内容を改め、要介護者の受け入れの幅を広げました。どちらの事業もスタートして日が浅いですが、携わる職員と一丸となり、入居の皆様、地域の皆様を支えきるため、それぞれの方が望む暮らし方に寄り添い、安心と希望をもって一日一日を過ごしていただけるよう、自律した生活が送れる支援を目指して日々取り組んでまいります。

これまでも、ケアプランセンター『ふれあい』、ヘルパーステーション『ふれあい』、デイサービスセンター『ふれあい』、『OSJ工房よりそいの丘』のサービスを地域の皆様から支えられ続けてこられましたこと、心より感謝いたします。

これからも築いた信頼関係を損ねることなく、さらに身近に感じてもらうこと、愛される事業所として進化してまいりますので、なお一層のご支援ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

東大阪養護老人ホーム事業計画

1 施設目標

施設で行うクラブや健康体操教室などを地域に開放する事で、地域住民や引きこもり高齢者の社会参加の場を提供し、豊かな地域社会の構築に努めます。また利用者様と地域との関わりもより一層深め、地域と関わる事に生きがいや楽しみを持って生活を継続していけるよう取り組みます。

2 事業方針

介護・生活支援サービスの向上
安心・安全な生活が継続できるよう運動や体操の時間を毎日設けます。また職員の危険予測の研修の強化や安全に過ごして頂ける環境の整備に努め、事故の減少に取り組めます。前年度より取り組んでいるフロアごとの行事について、フロアならではの行事や取り組み、外出会などの企画をより充実させ、利用者様満足につながるよう取り組みます。

3 平成28年度ステップアップ事業

地域における介護・認知症支援の連携
東大阪市内圏のエリアでも特に高齢化が顕著となる上小阪地域での介護、認知症高齢者に対して地域住民の意識を高め、地域住民が高齢者を支える地域の互助力形成を目的とした認知症サポーター講座と介護教室を地域住民向けに3か月に1回実施します。また地域連携を強化することにより、新規事業でもある地域包括支援センターのバックアップとしての役割も担います。

苦情解決等に関する取り組みについて

主任相談員 秋田 佳英

ご意見、苦情に対して真摯に受け止め、迅速な対応への取り組みを心がけています。

また、施設の利用者様を良く理解して下さっている第三者委員の竹澤様、大垣様に、月に一度お越し頂き、個別で利用者様の声を傾聴して下さっています。

今回の内容は下記のとおりです。

苦情内容

食堂のポットですが、ふたが緩くてこぼれてくることがありました。火傷になりかねないので点検をしてほしい。

今後の対応

点検は実施していますが、ふたの閉め方も再度周知徹底します。そして古いポットについては新しい物へ替えていきます。

転入・新規職員紹介



生活相談員 つつみぞえ しょうこ
堤添 祥子

出産・育児のためのお休みを頂き、美原荘より異動してきました相談員の堤添です。早く仕事を覚えて、皆様が安心して笑顔で過ごしてもらえるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



地域包括支援センター上小阪 主任介護支援専門員 ひらい けいこ
平井 慶子

4月から主任介護支援専門員として配属されました平井です。桜のきれいな時から雨の日も風の日も自転車に乗って、たくさんの利用者様と地域のケアマネさんにお会いする事が出来ました。『地域に上小阪の支援センターあり』と言われるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



ケアプランセンターふれあい 介護支援専門員 さがわ せつこ
佐川 節子

5月1日に入職しました。これまでも、ケアマネジャーの仕事をしていましたが、こちらの事は、わからないことだらけで、地に足がついていない毎日で、少々焦っています。皆さまにいろいろ聞いてばかりの日々がしばらく続くと思いますが、何卒宜しくお願いします。



看護職員 みかわ まさみ
三川 雅美

4月から新規職員になりました、看護職員の三川雅美です。養護施設に勤めるのは初めてですが、一生懸命勤めたいと思います。早く利用者様の顔を覚え、楽しく生活できる様に頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。



地域包括支援センター上小阪 介護支援専門員 もりした あつこ
森下 敦子

4月より入職しました森下と申します。地域の方々に親しまれるよう、一日も早く仕事を覚えて包括の一職員になれるよう務めていきたいと思っています。至らない事ばかりですが、ご指導お願い致します。



看護職員 おぐら ていこ
小倉 禎子

5月に、病院看護師から養護老人ホームの看護師に再出発しました、小倉と申します。医務室の優しい先輩に支えてもらい、日々業務にあたっています。もし私が廊下で、徘徊していましたら、皆さん優しく声をかけてください。どうぞよろしくお願いします。

転出職員

所長 大田 和人 → 光明荘 生活相談員 寺柿 洋 → 四條畷荘 支援員 金井 和也 → 光明荘

編集後記

新年度号の「ふれあい」はいかがでしたでしょうか。新たな仲間を迎えて、今年度もより一層、皆様に満足いただける施設づくりにまい進してまいります。広報誌「ふれあい」、次回もお楽しみに。

地域包括支援センター



平成28年4月、東大阪養護老人ホーム内に地域包括支援センター上小阪が設置されました。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように支援を行う相談機関として、各市町村が設置し、できるかぎり介護が必要な状態にならないように介護予防サービスのご相談をお受けしたり、介護以外にも高齢者に関する様々な相談をお受けし、必要なサービスにつなぐたり、権利や安全を守るお手伝い（権利擁護）などを行っています。

これまで悩みや相談ごとがあったとき、「ここは担当ではない」「ここではわからない」などと言われ、相談することをおきらめてしまった経験はありませんか？

地域包括支援センターでは、介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、どのような相談にも対応します。「どこに相談すればよいのかわからない」といった悩みも、まずは地域包括支援センター上小阪にお気軽にご相談ください。

デイサービスセンター「ふれあい」(地域密着型通所介護・介護予防通所介護・定員15名)



新しい
管理者です
主任生活相談員
さかしあきひろ
坂下 昂宏

4月1日より着任致しました坂下昂宏と申します。デイサービス「ふれあい」は3月31日まで東大阪養護老人ホームのご入所者の中でも介護が必要な方を対象とした「外部サービス利用型特定施設入所者生活介護」という介護サービスの提供において通所介護のサービス提供を担ってきました。しかし4月1日から養護老人ホームの中で介護が24時間必要な方のために介護保険を利用し、特別養護老人ホームに近い介護を提供出来るよう支援していく制度が開始となり「一般型特定施設入所者生活介護」に変更になりました。これにより、養護老人ホーム内でこれまでデイサービスをご利用されていた方が4月1日からは全くと利用できない状態となりました。



これからは地域の方に必要とされ、身近に感じられる事業所として確立していけるように『人と人とのふれあい』を大切にスタッフ一丸となって取り組んでまいります。ご見学・無料体験も随時受け付けさせていただいておりますのでお気軽にお問い合わせください。それでは今後ともよろしくお願い致します。

OSJ工房 よりそいの丘

今年も、よりそいの丘自慢の桜は、見事に咲き誇り、その満開の桜の下で、上六万寺町自治会主催の「上六さくら祭り」が盛大に開催されました(なるかわ苑さんと、よりそいの丘との共催です)。自治会の皆様とは何度も打ち合わせを重ね、会場準備の為に、よりそいの丘の草刈りもご協力頂きました。地域にお住まいの多くの方に楽しんでいただける良い機会となり、来年以降も地域の皆様と一緒に「上六さくら祭り」を楽しんで参りたいと存じます。ご協力頂きました皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。



ヘルパーステーション 「ふれあい」

上小阪に来てから3年が経ちました。少しずつ地域にも慣れてきたように思います。登録ヘルパーも増えて範囲も広く対応できるようになってきています。信頼される事業所を目指し、これからも一同で盛り上げて頑張っていきたいと思いますので、今後もうぞよろしく願います。

ケアプランセンター「ふれあい」は、人と人とのつながりを大切にする心を心がけ、介護保険サービスにとどまらず、医療機関や地域包括支援センター、民間のサービスを含め、ご本人の意向を尊重したプランを提供することを目標にしています。

介護保険認定申請やサービスの各種手続きだけではなく、在宅介護相談や情報提供も随時受け付けておりますので、お気軽に声をかけてくださいませ。

ケアプランセンター 「ふれあい」

ISO9001(品質マネジメントシステム)認証取得

昨年末よりISO9001(2015年度版)の取得を目指してきましたが、平成28年2月16日に認証取得をする事が出来ました。認証取得の取り組みを始めてから、ISOに則って業務改善や業務管理を実施して行っていますが、様々なデータを数値化して管理する事で明確に課題が見えるようになってきました。また、目標も分かり易く設定する事で職員間で共有が出来て、達成するために何に気を付けるべきか、何をすべきかが見えてきました。人材育成にも一人ひとりどこまで出来るのかを数値化、統計化して、より効果のある研修実施と育成を目指して取り組んでいます。まだ取得して1年目ですが、どのようにすればサービスが良くなっていくのかが見えてきましたので、しっかりとISOで管理して職員一同で実施していきたいと思っています。

各階 行事実施 について



な方も少しずつ参加していただけるように進めていきたいと思っています。

3階 今年度は昨年度の行事を活かし、より利用者様のニーズに合わせた行事を考案させていただきます。

当施設は個室のため、日中居室におられる時間の長い利用者様に、屋外に出て頂ける機会を設けられる行事を企画させていただこうと考えております。

5月は利用者様より「花を見に行きたい」と希望があり、久宝寺緑地に施設よりお弁当を持参し、ピクニックへ行ってきました。施設内ではレクリエーション活動とし、1000ピースのパズルを現在作成中です。施設生活をより楽しんでいただけるよう職員一同努めさせていただきます。



4階 28年度の4階階行事は【利用者様に生きている喜びを感じて頂く】というテーマを元に企画しました。

4月のつつじ見学会を皮切りに、5月、9月には今話題の水族館・ニフレルへの外出会を、さらに10月には日帰り旅行として姫路城に向かう予定です。これら企画の達成度は、参加された皆様の笑顔の数こそがバロメーターとなる事を心得、より多くの笑顔を獲得できるよう、献身的に取り組みたいです。



春の集い

昨年度に引き続き、今年度も春の集いと題しまして、当ホームの1階地域交流室で春の行事を実施しました。

まずはじめに菊紫恵先生ご一行さまによるお琴演奏をご披露頂きました。昨年度も盛り上がりでしたが、今年度はそれにも増して利用者様からたいへんお喜びの声が上がり、楽しめました。

また、菊紫恵先生のご紹介で沖縄民謡の先生も来られ、踊りや歌をご披露下さりました。こちらもとても好評で、職員も飛び入りで踊りに参加させて頂きました。

利用者様だけでなく、職員も楽しめ、今年度初回の行事としては大盛況となりました。



医務 便り

6月に入り梅雨の季節になりましたが、最近みなさんは笑っておられますか？他の利用者様と話している時、職員と話している時、相手がステキな笑顔を見せてくれると、それだけで楽しい気分になってきますね。笑顔には、周りの人を元気にする力があるようです。最近では「笑い」により、免疫力がアップするとの研究結果も報告されています。よく笑う人ほど病気にもなりづらいという事です。まさに<笑う門には福来たる>ですね。